

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | 児童発達支援センターきらり  |    |     |  |                          | 公表日 | 2026年3月31日 |
|---------|----|--|----|-----|--|--------------------------|-----|------------|
|         |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点                |     |            |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 2  | 3   |  | 学年が上がるにつれて、体の成長があり狭く感じる。 |     |            |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 4  | 1   |  |                          |     |            |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 4  | 1   | 1日の流れ、1週間の予定など子供たちが見通しを持って過ごせるようにしている。                               | 掲示物の量について、定期的に見直しが必要。    |     |            |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 4  | 1   |  |                          |     |            |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5  | 0   | 児発との連携がとれている。  |                          |     |            |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 5  | 0   | 毎朝ミーティングを実施。活動の振り返りを行い、それを踏まえた目標設定を行っている。月に1回の定例会議では支援の見直し、検討を行っている。 |                          |     |            |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  | 0   |  |                          |     |            |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  | 0   | 定例会議で意見を出し合い、よりよい支援を行えるようにしている。                                      |                          |     |            |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 4  | 1   |  |                          |     |            |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 4  | 0   | スキルアップ研修を含め、研修には参加している。  |                          |     |            |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5  | 0   |  |                          |     |            |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5  | 0   | 本人の意思決定という観点からアセスメントを行い、個別面談などで保護者のニーズを聞いている。                        |                          |     |            |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5  | 0   | 定例会議で職員の共通理解を深め、支援の検討などを行っている。                                       |                          |     |            |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5  | 0   | サービス計画の内容をチェック表に提示し、毎日の支援の中でも留意されている。                                |                          |     |            |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5  | 0   |  |                          |     |            |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5  | 0   | 必要な項目を設定し、具体的に支援内容が設定されている。  |                          |     |            |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5  | 0   | それぞれ意見を出し合い、設定している。活動の目的、ねらいは共有している。                                 |                          |     |            |
|         | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5  | 0   |  |                          |     |            |

|              |    |  |   |   |   |                             |
|--------------|----|--|---|---|---|-----------------------------|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                                   | 4 | 1 | 個々に応じて活動内容を検討している。                                  |                             |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                            | 5 | 0 | 毎朝ミーティングで確認している。ダブルチェックを強化したことで、送迎などのミスが減った。        |                             |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                     | 5 | 0 | 毎朝のミーティングで振り返りをしている。                                |                             |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 5 | 0 |   |                             |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                      | 5 | 0 |   |                             |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。  | 5 | 0 |   | 地域交流に関しては難しいと感じている。         |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                                       | 4 | 1 | 玩具は可視化し、子どもたち自身で選択できる環境を作っている。                      |                             |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 5 | 0 |   |                             |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 5 | 0 | 必要に応じて、行政と情報共有をしている。また、担当者会議以外で学校と情報共有する機会を設けている。   | 不登校児に対する支援が十分にできていないと感じている。 |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。                    | 5 | 0 | 担当者会議や送迎の際に適切に行われている。必要に応じて、学校と情報共有の機会を設けている。       |                             |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                   | 5 | 0 |   |                             |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                           | 5 | 0 | 移行先の事業所から要望がある場合には保護者の同意を得て行うようにしている。               |                             |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                                    | 5 | 0 | 通所事業所の話し合う場に参加し、意見交換を行った。                           |                             |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 4 | 1 |   |                             |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 3 | 2 | 今年度はこども支援部会主催の研修会に参加。                               |                             |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 5 | 0 | 送迎の際に、1日の様子は伝えるようにしている。                             |                             |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 5 | 0 |   |                             |
| 保護者への        | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 | 0 |   |                             |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 5 | 0 |   |                             |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 5 | 0 |   |                             |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 5 | 0 | 随時行っている。面談は年2回設定している。                               |                             |
|              | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 0 | 年2回勉強会・保護者交流会を実施し、交流の機会を設けている。夏祭りでは兄弟が参加できるようにしている。 |                             |

|         |  |   |   |   |  |  |
|---------|--|---|---|---|--|--|
| 説明等     | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。            | 5 | 0 |  |  |
|         | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。        | 5 | 0 |  |  |
|         | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。   | 5 | 0 | 同意書に基づいて使用している。                          |  |
|         | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。   | 5 | 0 | LINEを活用している。                             |  |
|         | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。   | 4 | 0 | 未記入：1                                    |  |
| 非常時等の対応 | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 0 |  |  |
|         | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                       | 5 | 0 | BCPIは定期的に見直している。                         | 監査にて非常食の量については見直すよう助言があったため、来年度は備蓄量を増やす。                           |
|         | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。   | 5 | 0 |  |  |
|         | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。  | 5 | 0 |  |  |
|         | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 5 | 0 | 水遊び、熱中症については繰り返し注意喚起を行い、事故防止につなげることができた。 |  |
|         | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                       | 5 | 0 |  |  |
|         | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 5 | 0 |  |  |
|         | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 5 | 0 |  | 職員会議の際に虐待防止研修を実施しているが、支援の時間と重なるため参加できないことも多い。来年度は放デイスタッフには別日で開催する。 |
| 54      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4   | 1 |   |  |  |